

南多摩病院リハビリテーション科の活動

～作業療法士の取り組み～

南多摩病院リハビリテーション科 作業療法士
石川、佐藤、長谷川、高尾、岩崎、羽生

南多摩病院は JR 中央線西八王子駅南口から徒歩 1 分に位置する、東京都指定二次救急医療機関の病院です。整形外科や外科等の外科系、内科、消化器科等の内科系、小児科、透析センターなど「地域の住民の方々に良質かつ安全な医療の提供」を基本理念として、医療連携の促進、最新医療の提供を行っています。

当院リハビリテーション科は理学療法士 23 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 5 名の合計 34 名で構成されており、それぞれが身体機能面、精神機能面、嚥下・食事機能などの専門の領域で力を発揮しながら入院・外来のリハビリテーションを行っています。私たち作業療法士は医師の指示の下でリハビリテーションを行い、日常生活に必要な機能を回復するための訓練や指導を行っています。

今回は活動紹介として報告するにあたり、平成 27 年度 4 月～12 月に処方された作業療法のリハビリ件数を抽出し、疾患別に分類しました。その結果、入院外来を合計して 479 件のリハビリ処方があり、内訳として運動器疾患が 198 件 (41.3%)、呼吸器疾患が 148 件 (30.9%)、脳血管疾患等廃用が 84 件 (18.2%)、脳血管疾患が 29 件 (6.1%)、心大血管疾患が 20 件 (4.2%) という結果になりました。当院では運動器疾患の中でも手の外科の処方が多いのが大きな特色です。

また院内の活動として、リハビリスタッフ間で連携し「みなみな会」と呼ばれる院内デイ活動を行っております。体操や日付の確認、工作など様々なアクティビティを行い院内の集団活動の場として機能しています。

当院の作業療法科の特色や取り組み、普段作業療法士がどのようなリハビリを行っているのかについてご紹介させていただきます。